学校番号	402

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「現代高等保健体育(改訂版)」　（大修館）						
副教材等	現代高等保健体育ノート　（大修館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康・安全について理解しよう。
・健康的な生活行動について学ぶ。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取組や個人での対応について知る。
・身近な健康問題に興味をもってもらう。

２　学習の到達目標

心身の健康について理解を深めるとともに、生活における健康を理解させ健康で安全な生活を実践する能力や態度を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観点の趣旨	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。
評価方法	ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 実習	定期テスト ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 研究発表	定期テスト ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 研究発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期	生涯を通じる健康	①思春期と健康 ②性意識と性行動の選択 ③結婚生活と健康 ④妊娠・出産と健康 ⑤家族計画と人工妊娠中絶 ⑥加齢と健康 ⑦高齢者のための社会的とりくみ ⑧保健制度と保健サービスの活用 ⑨医療制度と医療費 ⑩医療機関と医療サービスの活用健康の考え方健康の考え方	○	○	○	a:生涯における健康課題について資料を探したり、見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:生涯を通じて健康に生きていくために、現在の思春期から中高年期にいたるまで、どのような健康課題があるのか、それらにどのように対処していけばよいかについて、また生涯を通じて健康の保持増進をするには、保険・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関など適切に活用することを理解し、自身の考えを基に課題を見つけたり、整理したり、説明することができる。 c:生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及びわが国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることを理解し、自己のライフプランを考えることができる。	ワークシート 定期テスト
後期	社会生活と健康	①大気汚染と健康 ②水質汚濁と健康 ③土壌汚染と健康 ④健康被害の防止と環境対策 ⑤環境衛生活動のしくみと働き ⑥食品衛生活動のしくみと働き ⑦食品と環境の保健と私たち ⑧働くことと健康 ⑨労働災害・職業病と健康 ⑩健康的な職業生活	○	○	○	a:社会生活における健康の保持増進について、資料を探したり、見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:社会生活における健康の保持増進には、個人の力とともに、個人をとりまく自然環境や、社会の制度や活動などの社会的環境が大きく関わっていて、人々が健康に生きていくための健康的な環境づくりが不可欠であることを理解し、整理し、説明することができる。 c: 環境(食品衛生活動を含む)・労働について、また保健全般について、自ら課題をみつけ、調べ学習をおこない、発表することができる。	ワークシート 定期テスト 研究発表

表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。